

令和7年（2025年）7月28日発行

八幡市議会だより

No. 248

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75番地
TEL 075-983-5532 FAX 075-982-9880
八幡市・八幡市議会ホームページアドレス
<https://www.city.yawata.kyoto.jp>

発行：八幡市議会
編集：広報編集会議



田園風景(内里地区)

CONTENTS

令和7年第2回定例会の概要	2～3ページ
一般質問	4～12ページ
委員会審査報告	12～15ページ
議案・議決結果一覧表	16ページ

令和7年 第2回定例会

令和7年度一般会計補正予算案 など8議案を可決・同意

令和7年第2回定例会は、6月9日から6月27日までの19日間の会期で開きました。

今定例会には、市長から令和7年度一般・特別・下水道事業の各会計補正予算案3件、条例案2件、人事案1件、報告3件、その他1件、合計10件の提出がありました。また、議員から意見書案1件、市民から陳情・要望5件が提出されました。

審議の結果、議決を要しない3件を除き、市長提出及び議員提出の案件はすべて原案を可決・同意し、市民提出の陳情・要望5件（陳情・要望第6号 非核・平和施策に関する要望書、同7号「議会モニター制度」の設置を求める陳情、同8号 河川、地下水におけるPFAS汚染に関する陳情、同9号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情書、同10号 医療・介護労働者の持続的賃金改善を国に求める陳情）は審議未了となりました。

また、今定例会では15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

主な議決内容

議案第37号～第39号 令和7年度 の各補正予算案を可決

令和7年度の一般会計を2400万円増額し335億2400万円に、後期高齢者医療特別会計を300万円増額し25億7920万円に、下水道事業会計の収益的支出を33万2千円減額し16億4199万7千円に、資本的収入を693万3千円増額し3億5323万3千円に、資本的支出を730万円増額し7億4568万3千円にする各補正予算案を可決しました。

主な補正予算案は次のとおりです。

〈一般会計〉

●会計管理費（300万円）

eLTAXを利用した地方税以外の公金収納を行うこととしており、財務会計システムを改修するための経費です。

●バス交通対策費（440万円）

戸津・小松停留所周辺における昼間時間帯の交通空白地域の解消と高齢者の買い物、通院等の移動手段の確保のために事前予約型の乗合タクシーの実証運行を行うための経費です。

●コミュニティ事業費（250万円）

宝くじ収益を財源としたコミュニティ助成

金を活用して自治会交流活動備品の整備を支援するための経費です。

●共同浴場管理運営費（480万円）

南ヶ丘浴場施設における温水機設備の煙道が老朽化により破損等したことに伴い、設備を改修するための経費です。

●若年がん患者在宅療養支援等事業費（20万円）

ヘアドネーション活動協力補助金の申込件数が、当初予定件数を超過する見込みとなったことに伴う経費です。

●やわた流れ橋交流プラザ事業費（227万円）

「食の京都TABLE」選定施設であるやわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」の直売所機能強化に係る保冷トラック導入に助成するための経費です。

●防災対策費（200万円）

宝くじ収益を財源としたコミュニティ助成金を活用して、自主防災組織の防災備品整備を支援するための経費です。

〈後期高齢者医療特別会計〉

●一般管理費（300万円）

資格確認書の職権交付期間が延長されたことに伴い、資格確認書発送に係る経費です。

〈下水道事業会計〉

●雨水改築更新費（730万円）

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、同様の事故の未然防止を目的として、特別重点調査対象となった下水道管路の調査の実施に要する経費です。



議案第35号 八幡市税条例の一部を改正する条例案

地方税法等の改正等に伴い、令和8年度以後の個人市民税について、前年の合計所得金額が58万円を超え123万円以下である19歳以上23歳未満の者を親族に有する納税義務者を対象とした特定親族特別控除が新たに設けられること、加熱式たばこの課税方式について、重量及び価格の要素を用いた課税方式から重量のみの要素を用いる課税方式へ段階的に移行することによるものであり、原案を可決しました。

議案第36号 八幡市投票管理者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、開票管理者、開票立会人、選挙長、選挙立会人並びに期日前投票所の投票

管理者及び投票立会人の報酬を増額するものであり、原案を可決しました。

議案第40号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員1名の任期満了に伴い、引き続き、石川 修（いしかわ おさむ）氏を選任することに同意しました。

議案第41号 令和6年度男山東中学校エレベーター設備等整備工事請負契約の締結について

男山東中学校エレベーター設備等整備工事を施工するに当たり、エレベーター棟及び廊下の増築工事等の請負契約を締結するものであり、原案を可決しました。契約金額は1億5868万6千円であり、契約期間は令和8年2月27日までです。

澱川右岸水防事務組合議会議員2名の選挙について

本市選出の澱川右岸水防事務組合議会議員2名の任期満了に伴い、引き続き、井上 盛雄（いのうえ しげお）氏及び森口 智之（もりぐち さとし）氏を選出しました。

意見書案

議員から次の意見書案が提出されました。

意見書案第1号 ケア労働者の持続的賃金改善を求める意見書案

要 旨 国に対して、医療・福祉・介護分野

における物価高騰・他職種の賃金上昇等を踏まえた報酬単価、処遇改善につなげる加算の引上げ等を行い人材確保のための財政措置を講じられることを強く要望する。なお、国が財政措置を講じられる際は、国民の負担増につなげるのではないよう併せて要望する。

審議結果Ⅱ 原案可決

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会第101回定期総会において、小北幸博議員が正副議長在職4年以上の表彰及び全国市議会議長会の理事としての感謝状、中村正公議員が議員在職10年以上の表彰を受けられ、6月9日の本会議で報告されました。

一般質問項目一覧

清水章好 議員

(併用方式)

- LED照明への更新について
- 熱中症対策について
- ユニバーサルデザインのまちづくりについて

大野裕美 議員

(併用方式)

- 八幡っ子の生きる力を育む教育について
- シニアの孤立防止と地域での活躍支援について
- 八幡市の地域防災力を担う消防団について

中村法子 議員

(二問一答方式)

- 男山団地について
- 校外学習での大阪・関西万博参加について
- 少人数学級について
- 学校給食費の無償化について

田邊晴美 議員

(併用方式)

- 消防行政について

山本邦夫 議員

(二問一答方式)

- マンション支援について
- PFAS(有機フッ素化合物)検査について
- 介護保険事業について
- 障害福祉事業について

南本晃 議員

(併用方式)

- 市政への市民参画について
- 交通安全対策について
- 公共施設の整備について
- 農業振興について

横須賀生也 議員

(二問一答方式)

- 教員の働き方改革について

澤村純子 議員

(二問一答方式)

- 防災について
- 公共交通の充実について
- 就学前施設の今後について

中村正公 議員

(二問一答方式)

- 学校図書館について
- 補聴器購入助成について
- 文化財保護の在り方について

叶善之 議員

(併用方式)

- 高齢者介護について
- 児童虐待について

鷹野雅生 議員

(一括方式)

- 観光まちづくりについて
- 農業振興地域整備計画について

巖博 議員

(併用方式)

- 物価高騰、消費税等に係る中小業者支援策について

- 医療分野の子育て支援について

岡本美德 議員

(二問一答方式)

- 八幡市における外国人住民について
- 八幡市民の住環境について

福田佐世子 議員

(併用方式)

- 子育て・教育施設等について

山口克浩 議員

(一括方式)

- 若者が定着するまちに向けて
- 高次脳機能障害者への支援について

一般質問

市政を問う

令和7年第2回定例会では、6月11日・13日・16日の3日間にわたって15人の議員が一般質問を行いました。
質問項目は、左記に掲載しています。
す。なお、5頁〜12頁に、質問と答弁の一部要旨を掲載しています。

QRコードはこちら



会議録検索システム



議会映像配信

会議録・映像配信をご覧ください

市議会だよりは、紙面の都合で質問の一部を掲載しています。詳しくは、閲覧コーナー（市役所2階）や市民図書館に備えてある会議録をご覧ください。第2回定例会の会議録は9月上旬から閲覧できます。
また、ホームページでは会議録の検索や過去の本会議及び常任委員会の映像配信もご覧いただけます。

消防団の各部の定員24人、団員一人当たりが担う人口一覧表

部（地域）	団員一人当たりの人口	部（地域）	団員一人当たりの人口
第1分団第1部（1区）	400人	第3分団第1部（上区）	21人
第1分団第2部（2区）	217人	第3分団第2部（中区）	22人
第1分団第3部（6区）	100人	第3分団第3部（下区）	38人
第1分団第4部（男山）	824人	第4分団第1部（内里）	35人
第2分団第1部（3区）	172人	第4分団第2部（戸津）	23人
第2分団第2部（橋本）	488人	第4分団第3部（美濃山・欽明台）	394人
第2分団第3部（川口）	107人		

※令和7年4月末日現在の住民総人口68,317人で算定

LED更新、松花堂庭園のユニバーサルデザインについて



公明党議員団
清水 章好議員

Q 蛍光灯の製造を2027年までに廃止する決定を受け、公共施設のLED更新計画を策定し進めていくべきです。

A 建設産業部参与 計画的な更新が必要であり、計画は今後行う公共施設再編計画等も踏まえ時期・財源を検討し更新作業を行います。

Q 集会所等整備事業費補助金交付規則は、照明の更新は

対象外と認識していますが、自治会集会所等のLED化の補助をします。

A 政策企画部長 照明器具更新のみの補助制度設立の予定はございませんが、自治組織団体より集会所等の大規模な修繕について相談がありましたら更新について助言をしてみたい。

Q 名勝松花堂及び書院庭園

設備検討委員会でバリアフリー観点の協議内容は。

A こども未来部長 書院内は車椅子での移動を可能とするよう検討し、トイレについては車椅子対応の設置案ができています。

Q 外園だけでも景観を損なわない石畳園路にし、車椅子など足の不自由な方に優しいユニバーサルデザインの松花

堂庭園にしていきたい。

A 政策企画部長 庭園の構成上重要な空間で、良好な状態で維持する必要があると考えており、園路変更による影響も踏まえた上で、協議してまいります。

Q 以前の質問でアシスト付き車椅子を導入して頂き好評ですが、車輪が食い込まない砂利固定剤を整備し、ユニバーサルデザインを進めては。

A 政策企画部長 より多くの方に安全な砂利道のあり方について検討してみたい。



松花堂庭園入り口の砂利道

八幡っ子の生きる力・アクティブシニア・消防団定数



市民共生クラブ
大野 裕美議員

Q 人生において実践的に必要となる知識やスキル、すなわち生きる力を、八幡っ子達には学校教育において公平に身につけてほしいと考える。

今後の方向性について教育長のお考えは。

A 川中教育長 主体的に社会に関わり、社会をつくる力が、生きていく力であると考ええる。八幡市の子どもたちが

自らの未来を切り開き、よりよい社会をつくり出せるよう、進取の精神で今後も取組を進めたいと考える。

Q シニアは支えられるだけの存在ではなく、逆に少数の現役世代をバックアップできる力がある。アクティブシニアにご活躍いただき、世代間の協力関係が生まれていけば、安定した未来を切り開くこと

も可能となると考える。アクティブシニアの割合、ニーズ、社会参加意欲などを把握するアンケートを実施されては。

A 健康福祉部長 第10期高齢者健康福祉計画、介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査において、地域活動やボランティア、趣味などで積極的に活動されている高齢者の割合やニーズ等について

て、把握に努めたい。

Q 消防団13部の定員は一律24人であるが、団員1人当たりが担う人口が非常にアンバランスだ。地域性を鑑みた部の再編成も視野に入れ、女性枠も考慮し、部の定員を各地域に合った適正なものに見直すお考えは。

A 消防長 見直しについては、直近の改定から時間が経過していることもあり、他市町の状況も踏まえ、消防団と協議した上で、女性枠含め検討する。

男山団地のエレベーター設置 ／専科教員の配置について



日本共産党
八幡市議会議員団
中村 法子議員

Q 地域医療福祉拠点化されている男山団地のエレベーター、住棟スロープ、手すり設置などバリアフリー化について、市のお考えは。

A 建設産業部長 UR都市機構において住民の声や現地の状況により必要性や整備内容など検討、実施されるものです。

Q UR任せでは、男山団地

のエレベーター設置は前に進みません。市長と共に担当課は国、URに設置を働きかけるべきと思いますが、どのように考えますか。

A 建設産業部長 これまで市長がUR西日本支社に赴き、直接働きかけを行いました。今後必要に応じ、働きかけを行いたいと考えています。

Q やむを得ず通年を通して

担任の欠員が出ています。その時、せっかく配置できた専科をはじめ教職員を担任に当てる人員不足になり、全体的にしわ寄せがきます。国・府に対して教員の増員を強く求めているだけませんか。

A こども未来部次長 全国都市教育長協議会、全国市町村教育委員会連合会、京都府市町村教育委員会連合会など

を通して、教職員定数の改善を含めた教育環境の充実について要望しており、今後も様々な機会を通じて継続して要望します。

Q 今後専科教員の取組に対し、課題を含め市のお考えは。

A こども未来部次長 専科として任用するには、中学校の免許等、専門性が必要となる点が課題として挙げられます。人員の確保とともに、小学校教育員の専門性や指導力のさらなる向上が必要であると考えます。



UR都市機構西日本支社発信ウェブマガジンより

持続可能な消防体制の 在り方について



公明党議員団
田邊 晴美議員

Q 近年、救急車の出動件数が増加しているが、119番通報の中には擦り傷など軽傷者も多い。軽傷者の割合は。

A 消防長 令和4年51・2%、令和5年52・7%、令和6年51・2%。

Q 本日に救急車を必要とする患者の救命率低下が懸念されている。救急車を呼ぶべきか迷った時の相談窓口#

7119を推進すべきと考え、その取組は。

A 消防長 広報やわた掲載、チラシの全戸配布等にて啓発。

Q 軽傷者の中で最も多い高齢者に向けて、アプローチを考えては。

A 消防長 高齢者宅防火訪問時にリーフレット配布など、新たな啓発方法も検討したい。
Q 女性消防職員の働きやす

い環境を整える工夫は。

A 消防長 女性専用トイレ・浴室・仮眠室・更衣室・洗濯乾燥機・マタニティ制服の貸与等の整備。また、産前産後・子の看護・生理休暇等の取得体制を確保。

Q ハラスメント対策を含む相談体制は。

A 消防長 消防本部内の女性職員による相談窓口を今年

度中の設置に向け検討。

Q 男性消防士の育児休業取得について、本市の目標、現在の取得率、取組は。

A 消防長 令和11年度までに80%を目標。令和6年度の取得率は40%。消防本部庁舎内に育児休業等取得促進のポスターを掲示しています。

Q 積極的な取組が必要と考えます。総務省紹介の具体事例等を参考にされては。

A 消防長 育児休業を取得しやすい環境づくりに、引き続き努めてまいります。

病院へ行く？
救急車を呼ぶ？ 迷ったら…
#7119

緊急だと思ったら、ためらわずに119番通報を!!

総務省消防庁のホームページより



男山東中学校の通学路となっている府道交野久御山線

分譲マンションの耐震診断 助成／市がPFAS検査を



日本共産党
八幡市議会議員団
山本 邦夫議員

Q 民間分譲マンションの耐震診断について、過去に八幡市が助成するとして年間100万円の予算が計上されていたが、今も制度化されていません。分譲マンションへの耐震診断助成を具体化すべきではありませんか。

A 建設産業部長 分譲マンションの耐震診断助成を、早期に制度化できるよう準備は

整えています。管理組合の耐震診断の相談を周知します。

Q PFAS（有機フッ素化合物）の市内河川調査は大谷川二ノ橋付近で実施しています。大谷川の上流、防賀川なども調査が必要ではありませんか。

A 市民生活部長 水質汚濁の調査地点は京都府が判断されます。

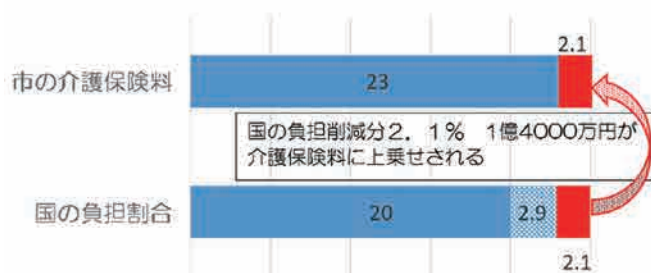
Q 城南衛生管理組合のフライン21長谷山、奥山排水処理施設の下流域に城陽市の長谷川、木津川があります。城南衛生管理組合でPFASを測定すべきではありませんか。

A 市民生活部長 議会からの意見は、城南衛生管理組合の担当課長会議で報告します。

000万円が第1号保険料に加算され、保険料が高くなっています。全国市長会も調整交付金の別枠化を要望しています。国に改善を求めるべきではありませんか。

A 健康福祉部長 調整交付金の基準額が交付されない場合、第1号被保険者の保険料に上積みとなります。介護保険の財源の半分を公費で賄うという役割があるため、第1号被保険者の負担を強いることのないよう、国の負担上げなどが必要と考えています。

介護保険料と国の負担(%)



通学路の安全対策・農業振興について



市民共生クラブ
南本 晃議員

Q 男山東中学校の通学路となっている府道交野久御山線は、信号機が設置されていない。交通量が多く信号機がない府道を生徒が横断していることについて、教育委員会としてのお考え、現状の対応は。

A こども未来部長 危険箇所への把握はしていますが、具体の安全対策を講じることができておりません。

Q 行政として信号機の設置に向けて強く働きかけていたきたい。お考えは。

A こども未来部長 今夏に、京都府、八幡警察署、八幡市、教育委員会です実施予定の合同パトロールで現地を確認しながら、声を届けてまいりたい。

Q 今後しっかり対策を行っていただけなのか。

A 川中教育長 できる限りの安全対策を講じるよう関係機関に要望してまいりたい。

ように進めようとお考えなのか。宅地開発により税収増となる固定資産税の一部を農業振興基金に積立てをされるお考えは。

A 川田市長 強い都市基盤の都市構造を構築するために、産業と農業のバランスの取れた形で発展させていくことが重要となります。まずは農業者の方々にご意見をお伺いし農業分野への還元方法を検討しながら、事業者や京都府とも連携して農業振興に努めてまいりたい。

教員の働き方改革について



自由民主党
八幡市議会議員団
横須賀 生也議員

Q 教育現場や教員間等で、タブレット端末などのICT機器を活用した今後の取組を検討していますか。

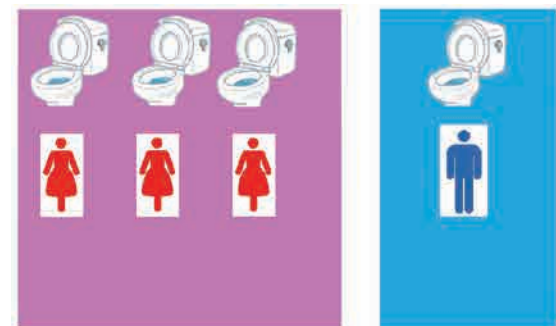
A **こども未来部次長** 府や国の学力テストが、CBTと呼ばれるタブレットやパソコンを利用したテストへと移行段階にあります。学校の小テストでもCBTを活用することで瞬時の採点や集計が可能

となるため、今後の1つの利用方法と考えています。導入から5年目となり、タブレットは日常の一部となっております。利用することを目的とするところから利用しない場面を選択することも含め、さらなるICTの活用の方について調査研究を進めてまいります。

Q ほとんどの学校の教頭先

生は、ふだんの仕事が多忙な激務の中でPTAの事務局を務めています。山城地方PTA連絡協議会では、京都府山城教育局の社会教育主事が事務局を務めています。教頭先生の負担を減らすために、本市においても、各学校のPTA事務局を教頭先生ではなく、八幡市教育委員会の職員等が担当してはいかがですか。

A **こども未来部次長** 各校のPTAでは、会員である教頭が窓口として事務を行っていることと認識しています。市PTA連絡協議会の事務については、現時点では教頭会で役割分担された教頭が担っており、課題はあるものと認識しています。しかし今後、現体制の中で業務の軽減を図ることが大切なのではないかと考えており、教育委員会に職員を配置してPTAの業務を行うことは考えていません。



スフィア基準を踏まえたトイレの男女比

防災について／公共交通の充実について



日本共産党
八幡市議会議員団
澤村 純子議員

Q 大規模災害時、政府が自治体からの要請を待たずに救援物資を派遣できるプッシュ型支援の問題点とその対策についての市の考えを教えてください。また、スフィア基準を踏まえてトイレの男女比は1対3になっていますか。

A **危機管理監** プッシュ型支援の問題点は被災者のニーズを事前に把握できず、支援

物資の過不足が生じる可能性や、予想を超える大量の物資が到着し、物資の滞留や避難所への供給が滞る可能性が考えられます。その対策は物資輸送の支援協定締結団体との早期連携、内閣府が今年から運用を開始した新物資システムを活用した避難者のニーズに合った物資等の調達をしてみたい。トイレの男女比

については、避難者数を確実に把握し男女比1対3になるようマンホールトイレ及び体育館・校舎のトイレを適切に区分していききたい。

Q コミュニティバスは、市民のみならずの大切な足だと思っています。石清水八幡宮駅へのコミュニティバスの乗り入れなど、今までの制度にとらわれず、新路線を考えて

いただき、ルートや時間の改定などの考えはありませんか。
A **建設産業部長** コミュニティバスのルート、ダイヤにつきましては現在、進めている八幡市地域公共交通網再編の中で、全体の見直しを含めて検討しているところです。石清水八幡宮駅への乗り入れを含む新経路の設定についても、地域全体のバランスや実現の可能性を踏まえたうえで、今後、地域公共交通会議などで議論し、適切に判断していきます。



文化財保護の在り方について



日本共産党
八幡市議会議員団
中村 正公議員

Q 5月24日、橋本陣屋跡発掘調査現場で講演会と見学会が別々に開催されたが、なぜ共催にできなかったのか。

A **こども未来部長** 事業者が講師を呼んで講演会を開くという企画をされ、市民や市内外の方が集まるということなので、同じ日に現地説明会を行いました。

Q 市主催の現地説明会の案

内には、雨天中止とありました。改めて説明会の開催が必要でないか。

A **こども未来部長** 市としては、現時点で出土した遺構についての説明会は終了したと考えています。

Q 文化財保護審議会が20年にも及び開催されていません。早急に審議会を再開すべきではないですか。

A **こども未来部長** 文化財保護審議会開催に先立ち検討する点が多くあるが、現在、着手準備はしていません。

Q 貴重な文化遺産の橋本陣屋跡。保存と活用方法を検討していくことが必要では。

A **こども未来部長** 開発の方向性は協議中であり、保存と活用方法につきましては、今後検討してまいります。

Q 橋本陣屋跡について、国や京都府とはどのような協議をしているのか。

A **こども未来部長** 取扱いについては国や京都府と協議している。今後も開発業者と十分協議して進めるよう助言を受けている。

Q 専門家から保存を望む声が上がっているが、お考えは。

A **こども未来部長** 教育委員会としては、開発行為によって破壊される全ての範囲での全面的な記録保存調査が必要と判断している。



橋本陣屋跡見学会

高齢者介護について／児童虐待について



活力やわたクラブ
叶 善之議員

Q 高齢者世帯における要介護認定者数、要支援認定者数は何人ですか。

A **健康福祉部長** 要介護認定者数が2798人、要支援認定者数は1981人です。

Q 本市における介護保険認定について、申請後平均何日で認定がされていますか。

A **健康福祉部長** 令和6年度は平均32日です。

Q 申請から認定されるまでのスピードアップを図るための施策や取組の予定は。

A **健康福祉部長** 適正な認定調査員数を確保し、期間短縮に努めたいと考えています。

Q 本市の虐待相談件数は。

A **福祉事務所長** 令和6年度は236件です。

Q 児童相談所の相談対応は18歳未満であるという現状で、どのような課題を感じ、改善や支援が必要だと考えますか。

A **福祉事務所長** 18歳を迎えても、何らかの事情により引き続き支援が必要な場合は、切れ目なく支援を続けることが課題であると認識しており、

相談者の特性に合わせた支援を提供することが必要であると考えております。

Q 高校生で18歳以上でも避難できる場所が本市に必要と考えます。18歳以上の一時保護施設についてのお考えは。

A **福祉事務所長** 18歳以上の一時保護施設につきましては、相談者の背景を聞き取り、法律に基づいた適切な支援が提供できるように、他部署と連携して対応してまいりたいと考えております。



石清水八幡宮駅周辺整備、農業振興地域整備計画について



自由民主党
八幡市議会議員団
鷹野 雅生議員

Q 石清水八幡宮駅周辺まちづくりについては今後より具体化させる必要があると考えますが、市として駅周辺整備をどのように進めていくのか。

つきましては、一足飛びに進むのではなく、徐々に計画の熟度や精度を上げ、関係者との合意形成を図りながら、中・長期的な視点に立って取り組んでいく必要があると考えます。ランドデザイン策定後につきましては、ランドデザインに描く将来像の実現に向け、市民や交通事業者、民間事業者など幅広い関係者

と連携を深めながら、多様な主体との協働に基づく担い手づくりを進めていくとともに、駅周辺に必要な機能の抽出、町並みデザイン、整備手法などの検討を丁寧に進めていきたいと考えます。

場整備が複合した整備など、農家の意向に沿った実現性のある整備を図る必要があると考えるが、市のお考えは。

A 理事 当該地区は農地として保全活用していく必要がある土地として農用地区域に設定しているところです。市としても、優良な土地利用を図る必要があると認識しております。まずは農業者のご意見もお伺いしながら、持続可能な農業の確立に向けて取り組んでまいりたいと考えております。



石清水八幡宮駅

消費税・インボイスで企業支援を／子どもの医療費助成



日本共産党
八幡市議会議員団
巖 博議員

Q 消費税のインボイス制度により、全国商工団体連合会の営業動向調査で営業が大変という結果が出ています。八幡市でも、長引く景況悪化、物価高騰により廃業や倒産などの影響が出ています。市内中小事業者の営業状況についてどのように認識していますか。インボイス制度の廃止や見直しを求める意見書が各地

の議会で可決されています。インボイス制度の見直しについてどう考えていますか。

A 建設産業部参与 インボイス制度で影響を受ける事業者はあると思いますが、市として事業者の販路開拓やイベントによる新規顧客の獲得、創業への取組を支援していきます。インボイス制度は、国会で議論され、国で決定され

た制度で、制度自体、市としての対応は考えていません。

Q 京都府の福祉医療制度のあり方に関する意見聴取会議が開かれています。子どもの医療費助成拡充へ年度内に方向性を示せるでしょうか。

A 健康福祉部長 具体的な方向性が示される時期については把握しておりません。

Q 市の国民健康保険財政調

整基金は2億4000万円ですが、この基金を活用して国保の子どもの均等割を軽減する考えはありませんか。

A 健康福祉部長 国は令和4年度に子育て支援施策として未就学児を対象とした均等割軽減制度を創設されており、制度拡充について今後、国で検討されると認識しています。また、国民健康保険財政調整基金は今後も保険料率の抑制に活用すると考えていることから、市独自で拡充する考えはありません。



八幡市における 奨学金支援制度について



無会派
岡本 美徳議員

Q 労働者福祉中央協議会が2024年6月に実施した日本人大学生の奨学金借用に関する調査結果を中心に、平均借入額や返済負担の実態をまとめました。日本の学生の奨学金は貸与型で借金なのに外国人留学生は支給となっている。（下記イラスト）

返済が終わるまで結婚、出産をためらうとの声も多く、ライフイベント全体に影響している。実際に奨学金返済が原因での自己破産件数は毎年数百件程度もあり初任給が低い若年層では奨学金返済額が生活費の2〜3割を占めることもある。大学進学後の返済を支援する八幡市中小企業者等奨学金返還支援事業補助金の

対象者と対象期間、補助金額をお聞かせください。

A 建設産業部参与 京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業補助金の交付決定を受けた事業者で、市内の事業所に勤務する従業員が対象となり正社員になってから1〜6年目まで、1人につき1年当たり府補助金額の2分の1以内で、正社員になって1〜3

年目は上限額4万5000円、4〜6年目は上限額3万円を補助するものです。

Q まずは日本人学生を支援すべきだと私は考えます。奨学金制度は国の制度なので、本市からも国に日本人の学生への支援を要望していただきたい。本市内では奨学金を返済中の方は多いと思いますが、個人に対しての奨学金返還支援予定や、お考えは。

A 建設産業部参与 新たな制度を創設する考えは、ございません。

教育施設の

今後の方針について



市民共生クラブ
福田 佐世子議員

Q 昨年の出生数が68万6061人、出生率は1・15で統計開始以来過去最低を記録し、本市でも出生数は328人です。少子化に歯止めがかからない状況であり、子育て・教育環境の在り方を検討すべき時期に入っているのではないのでしょうか。施設の適正規模・適正配置、就学前施設・小学校・中学校等との一貫校

や他の施設との複合化、また、学校が地域コミュニティの核となるような施設についての考えをお聞かせください。

A 川中教育長 近年は、小学校、中学校を完全に一貫教育とした義務教育学校や中学校と高等学校の一貫教育である中等教育学校も可能となっております。夜間中学や不登校のための学校など多様化する

るニーズに合わせた学校も広がりを見せております。また、本市の学校施設は老朽化や維持コストの課題もあります。現状の課題を洗い出し、地域や保護者へ情報共有していくことから議論は始まると考えています。教育委員会が再編ありきとか一貫校ありきではなく、市民の理解を得ながら、次の段階として、審議会のよ

うなものをつくり、全体的なビジョン等を考えた上で、それを基に熟議を重ねることに、より、よりよい八幡市の教育をつくり出していく、そういう合意形成がなされるものであると考えています。

A 総務部技監 学校施設を、子育てや教育の場としての活用にとどまらず、地域交流の促進や防災機能の確保、地域コミュニティの核となるような複合的な活用の在り方についても、選択肢の1つとして考えてまいります。

日本では国費で外国人留学生向けの留学奨学金制度があります	日本人大学生の待遇
国費外国人留学生の待遇 入学検定料：全額免除 入学金：全額免除 授業料：全額免除 渡航費：往復の航空券支給 奨学金：月額120,000〜(生活費) 145,000円支給 返済不要！	約半数の大学生が奨学金という名の借金 大学生の平均借入総額は 平均約340万円 日本学生支援機構(JASSO) 大学生の約 55% が奨学金を利用 住民税非課税世帯の給付型の場合でも 入学金：最大で 28万円 の免除 授業料：最大で 70万円 の免除 奨学金：月額 29,200円 〜(生活費) 75,800円支給

文部科学省 HP参照

高次脳機能障害者への 支援について



無会派
山口 克浩議員

Q 高次脳機能障害に関する支援や取組についてお聞かせください。

A 福祉事務所長 高次脳機能障害のある方への支援において、八幡市障がい者計画における高次脳機能障害の位置づけは、国の第5次障害者基本計画の横断的な視点を踏まえ、高次脳機能障害を障害特性などに配慮したきめ細かい

支援を行う障害の1つとして、社会全体のさらなる理解の促進に向けた広報啓発等に取り組んでいます。また、本市の相談支援体制については、市内3か所の地域生活支援拠点の相談支援事業所を中心に、多様なニーズ、適正かつ迅速に対応できるよう、総合的な相談支援や情報提供を行うことにより、必要な障害福祉

サービス等につないでいます。高次脳機能障害の疑いのある方への積極的な支援については、障害受容はデリケートな問題であることから、一概によいとは判断しかねますが、障害受容した方については、社会復帰するために、本人の意思を確認しながら、アウトリーチによる支援を行うことは重要であると考えています。

次に、高次脳機能障害のある方への就労支援については、公共職業安定所や「障害者就業・生活支援センターはぴねす」などと連携すること、障害特性に応じた支援を行っています。高次脳機能障害のある方が抱えるハンディキャップについては多種多様であることから、相談支援事業所において対象者の希望に応じて就労継続支援B型などにつないだり、公共職業安定所への同行支援等を行っています。



委員会審査報告

第2回定例会における委員会審査の概要は次のとおりです。

(議案名は16頁の議案・議決結果一覧表を参照)

(注) 報告番号と質問番号は連動しています。

総務常任委員会

(6月20日開催)

八幡市税条例の一部を改正する条例案など2議案を可決

議案第35号・第36号を審査。
議案第35号では「個人市民税における特定親族特別

〈所管事項審査〉
なし

議会事務局、監査委員・公平委員会事務局、
固定資産評価審査委員会、会計課

控除の該当世帯数及び影響額について、「加熱式たばこの課税方式の見直し理由及び重量のみの要素を用いる課税方式への移行方法について」、「たばこ税を段階的に移行する理由について」、「たばこの小売価格に含まれる税金の種類及び割合について」の4件、議案第36号では「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正理由及び改正に伴う投票管理者等の人材確保への影響について」、「改正内容に投票管理者及び投票立会人が含まれない理由について」等5件の質疑があり、理事者より答弁がなされました。いずれも討論はなく、挙手全員にて原案を可決しました。
付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。

政策企画部

〈所管事項審査〉

(報告) ①第5次八幡市総合計画第8次実施計画について
(質問) ①成果指標の目標値設定基準及び計画当初値より目標値が下がっている指標におけるその理由について

- ①持続可能なまちづくりのための今後の展望及び方向性について
- ①個別指標における前進及び後退の要因について
- ①自治組織団体の地域別の加入率及び加入率の多寡の特徴について
- ①前年度実績より後退している指標の評価及び達成見込みについて

(その他)

市民文化祭、消費生活相談に関する質問あり

総務部、選挙管理委員会事務局

〈議案審査〉

議案第36号 八幡市投票管理者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

（質疑） ・投票立会人、開票立会人、選挙立会人の役割について ・八幡市投票管理者等の報酬及び費用弁償の改正理由及び役職ごとの報酬の設定について ・交代制による投票立会人の職務及び報酬並びに拘束時間に対する意見について （所管事項審査） （報告） ①市民プラザの運用について ②公用車NHK受信料の未払いについて （質問） ①これまでの利用実績について ①貸切利用者への対応について ①利用ルールにおける禁止事項の解釈について ①利用の妨げとなっていた条件について ①利用ルールの遵守に係るチェック方法について ①利用者の偏りに対する苦情の対応について ①これまでの利用件数及び利用を許可しなかった事例について ①より早い段階での利用方法の見直しについて ①昨年の夜間利用状況について ①貸切利用がなくなることに対しての不満について ①カーナビゲーションシステム以外に支払いが発生する機器について ②支払見込額の算出根拠について ②追加割増金の発生について ②NHKからの調査依頼の時期について ②車両購入時における販売元からのNHK受信契約の説明の有無について ②今後受信契約をする車両及び受信料並びに受信機取り外しの費用について ②車両ごとの受信可否の確認について ②未払金の財源及び支出科目について ②NHK受信料の契約・請求・支払いの関係及び流れについて ②市全体における年間のNHK受信料について （その他） 選挙における投票所及び投票率に関する質問あり	（議案審査） 議案第35号 八幡市税条例の一部を改正する条例案 （所管事項審査） （報告） ①軽自動車税の口座振替利用者に対する納税証明書送付の終了について
---	--

（質疑） ①排気量250cc超の二輪車の納税証明書の送付対象者数及び今年度も送付する理由について ①納税証明書送付終了に伴う経費の削減について ①軽JNKsにおいて250cc超の二輪車の対応が四輪車より遅れた理由について （その他） P F A S、城南衛生管理組合の循環型社会推進会議に関する質問あり	文教厚生常任委員会 （6月23日開催） 令和6年度男山東中学校エレベーター設備等整備工事請負契約の締結についてを可決 議案第41号を審査。 議案第41号では「入札における予定価格、最低制限価格、落札率について」等3件の質疑があり、理事者より答弁がなされました。いずれも討論はなく、挙手全員にて原案を可決しました。 付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。	福祉事務所 （所管事項審査） （報告） ①低所得世帯物価高騰対策支援給付金について （質問） ①給付率が100%に至っていない理由及び未給付への対応策について ①給付率に係る評価について ①過去に実施した給付金との受給者の反応の違いについて ①令和6年12月13日以降に転居された方への給付方法について ①給付に係る住民税の所得割の考え方及び均等割非課税世帯の適用対象となる人数について （その他） 障がい児サービス利用料、物価高騰時の生活保護、ひきこもり支援に関する質問あり
--	--	--

健康福祉部 （所管事項審査） （報告） ①やわた未来いきいき健康プロジェクトの効果分析について ②令和7年度八幡市国民健康保険料率について （質問） ①令和6年度の退会者数及び退会理由について ①人口に占める年齢区分ごとの参加者の比率について ①事業における金額面以外の効果について ①令和5年度中に歩数データがある者の定義について ①参加群1名に対する非参加群の抽出人数について ①効果額の算出根拠及び効果分析の委託料について ①効果分析の必要性について ①参加者の年齢区分ごとの歩数データについて ①今後の事業の進め方について ①サコッシュ製作に係る進捗状況について ①令和2年度における75歳以上の効果額がマイナスとなった理由について （その他） ヘッドネーション、スマートウェルネスシティ首長研究会、介護保険料、子どもの医療費助成に関する質問あり	いづも未来部 （議案審査） 議案第41号 令和6年度男山東中学校エレベーター設備等整備工事請負契約の締結について （質疑） ・入札が6月になった理由について ・渡り廊下を増設する理由について （所管事項審査） （報告） ①令和7年度八幡市立小・中学校の在籍者数・教員数について ②令和7年度公立保育園・認定こども園・幼稚園の園児数について ③令和7年度放課後児童健全育成施設の入所児童数について ④公立幼稚園における給食弁当配送サービスの導入について ⑤放課後児童健全育成施設における夏休み期間中の弁当配送サービスの試行導入について ⑥（仮称）南ヶ丘こども園整備事業について ⑦小中学校における通話録音装置の導入について
---	--

（質問）

- ⑧ 就学援助制度の算定基準の改定について
- ⑨ 令和7年度スタディサポート事業（鳩嶺教室）について
- ⑩ 橋本陣屋跡発掘調査現地説明会について
- ⑪ 放課後学習教室「まなびーず」について
- ① 休職者の人数及び全体に占める割合について
- ① 特別支援学級の教員数について
- ① 通常学級における支援が必要な児童生徒への加配について
- ① 通級指導教室での指導内容について
- ① 教員の充足状況について
- ① 学校ごとの学級数と教員数の割合のばらつきについて
- ② なるみ幼稚園の利用定員数の記載がない理由について
- ② 定員超過の理由及び対応策について
- ② 公立及び私立保育園における園児数の推移の特徴について
- ② やわたこども園の定員超過の要因について
- ② 公立及び私立こども園における園児数の推移の特徴について
- ③ 放課後児童健全育成施設における人員配置について
- ④ 配送業者の試行について
- ④ 配送業者の決定理由について
- ④ 料金支払いの流れについて
- ④ 保護者の意見募集の流れについて
- ④ 契約の方法について
- ④ サービス利用に係る公的支援について
- ④ 自然災害や交通事情等により配送できない場合の対応について
- ④ 就学前施設における公的な昼食対策について
- ⑤ PECOFREE導入の経緯について
- ⑤ 次年度以降の実施の検討について
- ⑤ 提供価格の設定方法及び妥当性について
- ⑤ 業者選定基準及び契約に係る市の関係性について
- ⑤ サービス提供に係る責任の所在について
- ⑥ 基本・実施設計業務プロポーザルと工事の一般競争入札との関連について
- ⑥ 最速イメージの詳細について
- ⑥ 施設概要と公募型プロポーザル参加資格要件の認定こども園の表記の違いについて
- ⑥ こども未来部総括園長の役割について
- ⑥ プロポーザルにおける評価項目について
- ⑦ 録音データの保管場所について
- ⑦ 通話録音装置管理責任者の配置及び個人情報情報の取扱いに係る研修について

- ⑦ 録音データ記録媒体の容量を超えた場合のデータ消去について
- ⑦ 最大録音時間を超えた場合の対応について
- ⑦ 録音データの目的外利用及び外部提供について
- ⑦ 録音データの保存期間について
- ⑧ 算定基準の変更理由について
- ⑧ 算定基準変更に伴う対象者数の増減及びこれまでの認定対象者の認定について
- ⑨ 申込者数の増減に係る分析について
- ⑨ スタディサポート事業に係る落札業者及び契約期間並びに業者選定方法について
- ⑩ 日本史研究会からの要望書の受理及び対応について
- ⑪ 申込者全員の受講の可否について
- ⑪ 想定していた申込者数と現状の差異に係る分析について
- ⑪ アドバイザー確保の取組について
- ⑪ まなびーずという名称に込められた思いについて
- ⑪ 事業の予算規模及び財源内訳並びに国や府の補助について
- ⑪ 市全体を対象とした学習支援の実施場所の見直しについて
- （その他）
不登校対策、こども誰でも通園制度、教員の配置状況、図書館司書に関する質問あり

建設水道常任委員会

（6月25日開催）

所管部から8件の報告

建設産業部5件、産業振興室2件、上下水道部1件の報告に対し質問があり、それぞれ理事者から答弁がなされました。

報告等の質問は次のとおりです。

消防本部

（所管事項審査）

（その他）

京都府消防救助選抜会、消防自動車故障、火災出動、救急講習、救急車の適正利用に関する質問あり

建設産業部

（所管事項審査）

（報告）

- ① 道路事業の進捗状況について
- ② 石清水八幡宮駅周辺ランドデザイン策定に向けた取組について
- ③ 地域公共交通（地域公共交通網再編検討、デマンド型タクシー）について
- ④ 都市公園における民間活力導入の可能性検討業務について
- ⑤ 八幡市宮住宅等空家人居者募集について

（質問）

- ① 橋本駅周辺拠点整備事業のシュルター・トイレ整備に係る補助金及び補助率について
- ① 放生川踏切道拡幅事業に係る補助金及び補助率について
- ① 橋本駅周辺拠点整備事業に係る補助金の要望額及び内示率について
- ① 橋本駅周辺拠点整備事業に係る補助金要望について
- ① 放生川踏切道拡幅事業に係る補助金について
- ① 橋本駅周辺拠点整備事業の進捗状況について
- ① 橋本駅周辺拠点整備事業における令和7年度補助金の内示率が見込みより低かった理由について
- ① 橋本駅周辺拠点整備事業に係る地方債の詳細について
- ① 橋本駅周辺拠点整備事業における来年度の工事内容、金額、補助金の見込みについて
- ① 二階堂川口バイパス整備事業における今年度の府及び市の事業内容並びに用地取得状況について
- ① 工事が完了した箇所からの部分共用の開始について
- ① 国道1号用地買収における用地取得状況について
- ① 橋本駅周辺拠点整備事業における当初の事業完了予定について
- ① 市道野神線道路整備事業に係る業者選定方法について
- ① 二階堂川口バイパス整備事業における残りの用地取得に係る地権者数及び事業の完了について
- ② 石清水八幡宮駅周辺まちづくりシンポジウムでの特微的な意見について
- ② 今年度実施のワークショップに係る参加者募集方法、募集人数、開催場所について
- ③ デマンド型乗合タクシーの予約方法について
- ③ 令和8年2月以降も実施継続する場合の補助金活用について
- ③ 車両が目立つデザインについて
- ③ 障害者の利用時における手帳の提示について

産業振興室

- ③ 車椅子の乗客の対応について
 - ③ 業務委託に係る業者選定方法及び選定期間について
 - ③ 利用対象者及び運行区間の詳細について
 - ③ 公共交通網の再編スケジュールについて
 - ③ 地域公共交通会議等への住民アンケート調査結果の反映について
 - ③ デマンド型乗合タクシーを通年で実施した場合の経費について
 - ④ デマンド型乗合タクシーの運行時間帯について
 - ④ 今後の事業展開及び事業における成果物について
 - ④ 民間活力の想定について
 - ④ 様々な事業手法の検討について
 - ④ 子どもや若者の意見の採用について
 - ⑤ 空家のリフォームに係る費用について
 - ⑤ 市営住宅におけるリノベーションの実施について
 - ⑤ 各住宅における応募状況について
 - ⑤ 市営住宅における子育て向け住宅の検討について
 - ⑤ 抽選で外れた方に対する応募がなかった住宅の斡旋について
 - ⑤ 募集戸数の拡大について
 - ⑤ 八幡市住宅審議会の開催時期及び開催回数について
 - (その他)
 - ⑤ 街路樹、府道八幡城陽線、指名停止、児童公園の管理、市道西山下奈良線、駅前スーパーの跡地に関する質問あり
- (所管事項審査)
- (報告) ① 泉佐野市との特産品相互取扱協定の進捗について
 - ② 男山北部保全用地の隣地取得について
 - (質問) ① まるかじりJAPANで販売した商品及び購入者の声について
 - ① まるかじりJAPANにおいて購入者が商品を持ち帰る袋について
 - ① 今後のイベント開催について
 - ① 八幡市内でのイベント開催予定について
 - ① まるかじりJAPANで出品した商品について
 - ① イベントに出務した職員の勤務の取扱いについて
 - ① イベントにおける売上げの取扱いについて
 - ② 今後の維持管理及び活用方法について
 - ② 寄附を受ける以外の対応策について
 - ② 今後の維持管理に係る国や府の関与について
 - (その他)
 - ふるさと納税、燃料油価格、食品スーパー、地方創生臨時交付金に関する質問あり

上下水道部

- (所管事項審査)
- (報告) ① 八幡市水道ビジョンの改訂について
- (質問) ① 上下水道事業経営懇談会の開催予定時期が変更になった理由について
- ① 水道ビジョンの大幅な軌道修正の有無について
 - ① 水需要の増加に向けた取組について
 - ① 水道事業の健全性確保について
 - ① 水道管路耐震化の進捗状況について
 - ① 目標達成の見通しについて
- (その他)
- 水道基本料金、雨水改築更新費、PFAS、上下水道料金に関する質問あり

委員会のインターネット映像配信を開始しました

委員会のインターネット映像配信に向けた実施方法等について、八幡市議会活性化特別委員会での協議結果が山本委員長・奥村副委員長から小北議長・鷹野副議長に提出されました。(役職は、令和7年4月当時のもの。)

それを受け、議会運営委員会において常任委員会（総務・文教厚生・建設水道）及び特別委員会（予算・決算）のインターネット映像配信を令和7年第2回定例会より実施することが決定しました。

なお、4頁右下に記載のQRコード（議会映像配信）よりご覧いただけます。



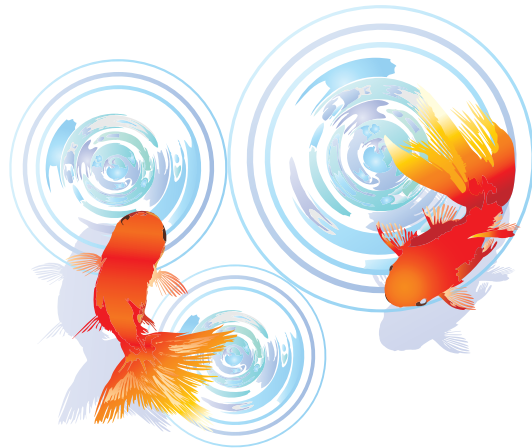
暑中お見舞い申し上げます

虚礼廃止にご理解とご協力を！

公職選挙法の規定により、市議会議員は各自治会等が実施する夏祭りなどの行事に寄附すること及び暑中見舞いを選挙区内にある方に送付することが禁じられています。

また、選挙区内にある方が市議会議員に対して、寄附を出すように勧誘や要求をすることも禁じられています。

市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



令和7年第2回定例会 議案・議決結果一覧表

令和7年第2回定例会の審議結果は次のとおりです。(○=賛成、×=反対)

議案番号	件名	議決結果	共産党					市民共生					自民党			公明党		活力		無派				
			山本邦夫	巖博	中村正公	澤村純子	中村法子	福田佐世子	小北幸博	小川直人	南本晃	大野裕美	鷹野雅生	山田芳彦	奥村順一	横須賀生也	清水章好	太田克彦	田邊晴美	叶善之	寺田圭佑	山口克浩	岡本美徳	
議案第35号	八幡市税条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長職のため表決権はありません。	○	○	○	○	○		
議案第36号	八幡市投票管理者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
議案第37号	令和7年度八幡市一般会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
議案第38号	令和7年度八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
議案第39号	令和7年度八幡市下水道事業会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
議案第41号	令和6年度男山東中学校エレベーター設備等整備工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
意見書案第1号	ケア労働者の持続的賃金改善を求める意見書案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
※報告第6号「令和6年度八幡市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について」、報告第7号「令和6年度八幡市水道事業会計予算繰越計算書の報告について」、報告第8号「令和6年度八幡市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について」は議決を要しないため、報告のみで終了しました。																								
※議案第40号「固定資産評価審査委員会委員の選任について」は、原案の候補者 石川 修(いしかわ おさむ)氏の選任に同意しました。																								
※澱川右岸水防事務組合協議会議員2名の選挙を行い、井上 盛雄(いのうえ しげお)氏、森口 智之(もりぐち さとし)氏を当選人としました。																								

会派名等	共産党＝日本共産党八幡市議会議員団 市民共生＝市民共生クラブ 自民党＝自由民主党八幡市議会議員団 公明党＝公明党議員団 活 力＝活力やわたクラブ 無 派＝無会派
------	---

◎第2回定例会傍聴者数 本会議20名 委員会2名

令和7年第3回定例会の予定

9月4日(木) 本会議(開会日)	9月24日(水) 本会議(決算以外の審議)
9月5日(金) 本会議(決算上程)	9月26日(金) 決算特別委員会
9月8日(月) 本会議(一般質問)	9月30日(火) 決算特別委員会
9月10日(水) 本会議(一般質問)	10月1日(水) 決算特別委員会
9月12日(金) 本会議(一般質問)	10月3日(金) 決算特別委員会
9月16日(火) 本会議(一般質問予備日)	10月6日(月) 決算特別委員会
9月18日(木) 総務常任委員会	10月8日(水) 決算特別委員会
9月19日(金) 文教厚生常任委員会	10月14日(火) 決算特別委員会
9月22日(月) 建設水道常任委員会	10月16日(木) 本会議(閉会日)

- * 本会議および委員会は基本的に午前10時開会予定です。
- * 定例会の予定は、今後変更となる場合があります。
- * 本会議並びに常任委員会及び決算特別委員会はインターネットでライブ中継をします。